

**自分の身は自分で守る！
そのために日頃から
心がけておくこと**

いつ起こるか分からない地震などの災害に対して、どんなことに気をつけておくべきか、北消防署長に伺いました。

Q 地震の揺れを感じたらまず何をすればよいでしょうか？

A まずは、安全な場所に身を置き、隠れるところがあれば、隠れて自分を守ってください。

また、テレビやラジオ、インターネットなどから正確な情報を収集してください。

Q 日頃から準備しておけることなどはありますか？

A 家庭内の二次災害を防止するための「家具の転倒防止」と「持ち出し品の準備」はしておいてください。忘れがちなのは、赤ちゃんのミルクと病院で処方されている薬です。

Q 消防署から市民の皆さんにお願いしたいことは？

A 災害が起きれば、誰もが被災者になる可能性があります。そのため、全ての被災者の救出に対応することは困難で限界があります。「自分の身は自分で守る」そして「近隣の人と協力する」共助の輪を作ることが大切です。

そのためにも、地域の防災訓練には積極的に参加し、応急手当などの知識を身に付けることと避難ルートも把握することが大事になってきます。

また、市外からの転入者や外国人の人は、近くにある川や池などの危険力が分からないので、教えてあげてください。

◀三親広域行政組合
北消防署長
小山 純一さん

住宅の耐震対策を急ぎましょう！

昭和56年5月以前に建てた住宅には、耐震補強が必要な住宅が多くあります。市では住宅の耐震対策を支援しています。(耐震診断・耐震改修)

▲問い合わせ 建築課 ☎73-3044

【耐震診断】
費用の**90%を補助**(上限9万円)
(参考)診断費用の目安10万円程度

大地震に対して、住宅が倒壊しないかどうか、所定の講習を受けた建築士が判定してくれます。



▶基礎のひび割れ等がないか打診

【耐震改修】
工事費の90万円まで**全額補助**
(参考)これまでの補助実績では200万円程度の工事が多くなっています

大地震による揺れに耐え、住宅が倒壊しないように必要な補強を行うものです。



▶補強の一例(筋交いを入れたい)

※その他、耐震シェルターやベッドなどの補助もあります。

住まいの耐震化 無料相談会

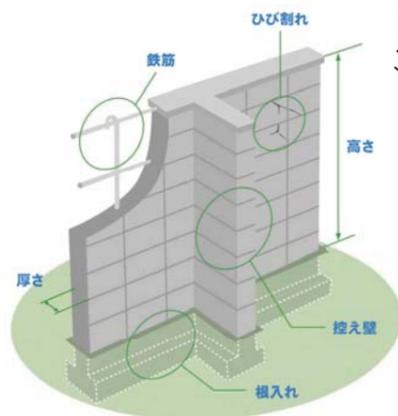
経験豊富な建築士が「住宅の耐震化」について、皆さんの疑問にお答えします。補助金の説明や受け付けも行います。事前予約が必要ですので、建築課にお問い合わせください。

- 日 9月18日(火)
- 場 危機管理センター
- 対 昭和56年5月以前に建てられた住宅(借家を含む)
- 内 耐震化についての相談、補助金手続きの説明
- 申 問 建築課 ☎73-3044



ブロック塀の安全点検 チェックポイント

- 以下の項目のうち、一つでも不適合があれば危険なので改善しましょう。
- ① 塀の高さは地盤から2.2m以下であるか。
 - ② 塀の厚さは10cm以上であるか。
 - ③ 塀の長さ3.4m以内ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
 - ④ コンクリートの基礎があるか。
 - ⑤ 塀に傾き、ひび割れはないか。
 - ⑥ 塀に鉄筋が入っているか(専門家に相談しましょう)。



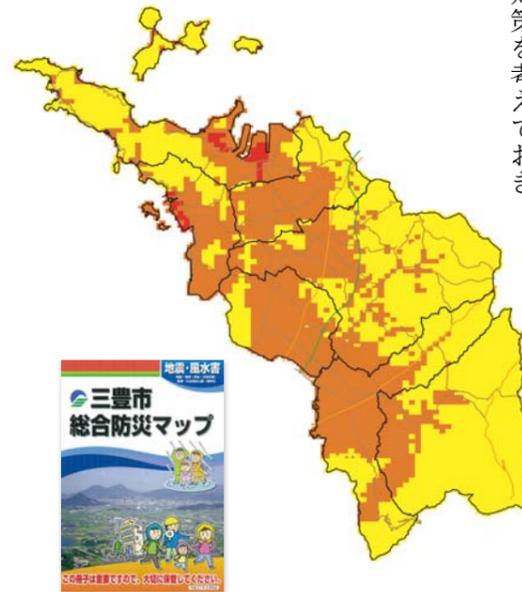
この30年以内に南海トラフ地震が起こる確率は70～80%程度

香川県に最大クラスの
南海トラフ地震がやってきたら・・・

■最大震度7
■津波による海面の高さ3m超

死者……………6,200人 負傷者数……19,000人
建物全壊・焼失棟数……35,000棟(県内での被害想定)

南海トラフ地震発生時の
《三豊市における震度》
震度7 震度6強 震度6弱



地震を理解する
日本各地で起きる災害、特に地震は突然発生し、私たちの生命や財産を奪います。阪神淡路大震災以降の約20年間で新潟県中越地震・東日本大震災・熊本地震など、全国各地で多くの地震が発生しています。
私たちの住む三豊市も、近い将来南海トラフ地震の発生確率が30年以内に70～80%と予測されています。また、全国に二千以上の活断層があり、活断層がない場所でも地震は発生することがあります。
三豊市総合防災マップなどで地域の危険度を把握し、日頃から減災対策を考えておきましょう。

地震に備えて我が家を安全な場所にする
地震の発生は、私たち人間の力では食い止めることができません。しかし、地震による被害は、事前の防災・減災対策によって、できるだけ少なくすることはできます。「生き残ってからのことよりも、「生き残るため」に「死なないための努力」をしましょう。
防災対策には、「十分」とか「絶対大丈夫」というものはありません。地震の被害を最小限に抑えるためには、地震に関する基本的な知識を理解し、いざ地震が発生した際には正しく身を守ることが重要です。

1 非常持ち出し品は1週間分準備を！

- ・ 食料や飲料水だけでなく、持病の薬、眼鏡、入れ歯や粉ミルクなど、家族の状況に応じて備えておきましょう。
- ・ リュックサックなどに入れて、玄関や寝室など持ち出しやすい場所に保管しましょう。



2 窓ガラスの安全対策を！

- ・ 窓や食器棚が割れてガラスが飛散しないように「飛散防止フィルム」を貼りましょう。
- ・ 薄いレースカーテンを常に引いておけば、飛散を軽減できます。



3 家具の配置は安全第一で！ 寝室には背の高い家具を置かない

- ・ 不安定な場所に、家具を置かない。
- ・ L字金具などを使って、柱や壁に固定する。
- ・ 枕元に、ライトや履物を常備しておきましょう。

